

| コメント | 回答案 |
|--|---|
| 最初にプレイヤーのそれぞれの自己紹介があればよかった。 | <p>ゲーム前の関係の質を高める目的にも合致しますので、次回より実施したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>現実世界でも自己紹介は大切です。素晴らしいご提案です。</p> |
| 反復学習が大切と感じた。 | <p>複数回参加される方も実際にいらっしゃいます。</p> <p>このカードゲームでは参加するメンバー構成により結果が全く異なるため、毎回新しい気付きを得ることができます。</p> <p>このカードゲームの目的は</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりに、SDGs の考え方を取り入れることの意味を知ること。 ● ゲームの体験を通じて、まちの課題は何か？ どうすれば解決できるか？ について気づきを得ること。 ● 現実世界においてどう活かせるか？ を考えること。 ● 自分自身をどう変える？どう行動すべきか？ の気づきを得ることですね。 <p>カードゲームで与えられた目標を達成するためのノウハウを習得することで、現実世界での活かし方、自分の思考方法、行動方法を学んでいただければと思います。</p> |
| プロジェクトも一つだけではなく2～3を関連させて使用できるかどうか | <p>後半は、他のチームのプロジェクトカードを確認している姿が見られました。全体のバランスを見ながら地域の状況メーターを優先する工夫は有効だと思います。</p> |
| 最初の段階で自分が何の担当 たとえば「行政」ということが理解できませんでしたが決められていたのですね。2回・・・とやることにより内容が見えてきました。 | <p>各チームの役割や使命の理解にもう少し時間をかけておけばよかったですね。大変失礼しました。</p> <p>自分の役割と使命を知り、同時に他チームの役割や使命を知ることが関係の質向上にもつながり、ゲームの学びも質も向上するはずで。</p> <p>次回にはそのへんにも配慮した構成にしたいと思います。素晴らしいご提案ありがとうございました。</p> |
| 何百万、何千万のお金を使つてのゲームというのは私にはピンとこない。残念ながら私たちの町でもトップの不祥事があり、そうなる私たちのモチベーションも下がります。その | <p>おっしゃる通りです。</p> <p>現実世界では突如として予測もつかない大きな変化が起きることがありますね。新型コロナウイルスの影響による様々な変化も数年前には誰も予想しなかった世界です。</p> <p>現実世界に起きている様々な出来事の背景では、さまざまな要素が絡み合い、原因を一つに特定できないことが多くあります。ま</p> |

| | |
|---|---|
| <p>辺を大内さんはどうお考えなのか聞きたかったです。</p> | <p>た実は自分自身も問題の一部になっていることもあります。</p> <p>何らかの対策を打つと、多方面に様々な影響をもたらし、課題解決から遠ざかってしまうこともある問題もたくさんあります。</p> <p>今回のカードゲームでは各チームに多様な目標を与えられていました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. まちの人口を増やす 2. まちの経済をよくする 3. まちづくりの施策を実施する 4. 食料、海の問題、陸の問題を解決する施策を実施する 5. 産業技術、生産消費に関する施策を実施する 6. 気候変動、パートナーシップ、まちづくりの施策を実施する 7. 仕事と経済の施策を実施する 8. 教育、ジェンダー、不平等の施策を実施する 9. 健康と貧困に関する施策を実施する 10. 仕事と経済に関する施策を実施する <p>現実世界はさまざまな価値観を持った人たちが構成されていますが、現実世界と同様、ゲームではそれを模して様々な目標(思いや価値観)を持っている人たちがコミュニティが作られています。</p> <p>共通目標である「人口」「経済」「環境」「暮らし」を良くする活動体験を通じて、現実世界でも対話と協働が大切であることを気付いていただけたらという思いで作られたゲームとなっています。</p> <p>私たちのワークショップではゲームを通じて「関係の質」を高めることが、現実世界においてはとても大切であると考えています。</p> <p>関係の質を高めることの最初の行動は「対話」と「協働」であると考えます。</p> <p>幻滅や絶望からは本質的な変容は生まれませんし、そもそも起きた事象をフラットに観察するエネルギーすらなくなってしまいます。何もしなければ最悪の世界になってしまう事態を避けるためにどうすればよいか、を「自分ごと」として考え行動することが大切であると考えます。</p> <p>私たちは観察・省察が発展的に起こる、地域の皆さまひとりひとりが現実をどう変えていくのか、そのエネルギーを高めるような動機付けのお手伝いをさせていただくことに喜びを感じています。</p> |
| <p>町の人口を増やすことにとっても重きをおいていましたが、一方で世界の人口爆発があります。その矛盾を大内さんはどのようにお考えかも聞きたかったです。</p> | <p>世界では発展途上国が経済的に成長することにより、死亡率が低下し今後も人口増は続いていき、人口増と気候変動により食糧危機が現実的な課題となると予測されています。</p> <p>一方日本をはじめいくつかの国では出生率が低下したことで、既に人口減少段階に入りました。更に日本においては人口の大都市集中化が年々進行しています。</p> <p>「人口減少」と「都市集中化」の課題は地方における最優先すべき全国的なテーマであり、そのため国は地方創生を世界共通のSDGsの手法を使って早急に実施したいのだと思います。</p> |

- ・ 誰ひとり取り残さない
- ・ 指標化(見える化)
- ・ 連鎖・全部を同時に(相互につながりあっている)

皆様にご周知のことですが、地方人口の減少により次のような問題が連鎖して起きると言われ、各自治体は必死になって食い止めようとしています(必死さの違いが未来のまちの姿を左右すると言われています)。最大の問題はこれによりその土地で暮らす住民に一番影響が及ぶことに気付かされていないことなのです。

下記はその一例です。(人口減少が進むと・・・)

- ・ 税収が減り財政が悪化
- ・ 公共サービスが低下、インフラが悪化
- ・ 地域格差の悪さが露出
- ・ 学校の統廃合
- ・ 後継者不足、人件費が高騰
- ・ まちへの愛着が低下
- ・ 仕事が減少する
- ・ 産業衰退
- ・ 貧困増加
- ・ 更なる人口流出

今回ご説明した「地方分散シナリオ」を実現するためには、総論としては環境課税、地域経済を促す再生可能エネルギーの活性化、まちづくりのための地域公共交通機関の充実、地域コミュニティを支える文化や倫理の伝承、住民・地域社会の資産形成を促す社会保障などの政策が有効と言われています。

実際にある地方都市ではいち早く対策を実施し人口増加を実現しています。(減少を食い止めています)

これらの方向性を踏まえ、会津美里町では何を優先し具体的な施策に落とし込むのか。その選択肢の意思決定には住民の意見を聞くこと=「対話」が大切であると気づいていただくことが今回のゲームの目的のひとつです。

現実世界ではなぜ「対話」がうまくいかないのか？ 私たちは関係の質を高めることが最初であると考え、関係の質を高める具体的な例として「対話」「協働」であると考えています。

ご意見にもありました意見交換の場はとても大切な「対話」です。今回は時間の都合でできませんでしたが、また機会がありましたら必ずそういう場を設けたいと思います。

素晴らしい問題提起のご意見をありがとうございました。